

豊橋市自然史博物館年報

第 38 号

令和 7 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 38

2025 - 2026

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History
Toyohashi 441-3147, Japan

はじめに

豊橋市自然史博物館は、生物がたどってきた生命の歴史を学び、自然に親しみ、自然を大切にする心を養うことを目的に、昭和 63 年 5 月 1 日に開館し 37 年が経過しました。昨年度の入館者は前年度より 43,683 人多い 721,971 人で、開館以来の延べ入館者は、19,682,595 人となりました。

令和 7 年度は、5 月 21、22 日に公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）通常総会が豊橋市で開催され、22 日には総合動植物公園に視察としてご来園された秋篠宮皇嗣殿下をお迎えしました。

夏の第 39 回特別企画展「エイリアンプラント・バスターズー侵略的外来植物対策展ー」では、侵略的外来植物に対する対策について関心を高め理解を深めてもらうため、生態レプリカや実物標本のほか、様々な大型駆除機械の実物を中心に据えてこれまでにない展示を行いました。会期中には、会場内の展示物を前に侵略的外来植物駆除の最前線での活動について解説会も開催しました。

企画展「標本となった飼育個体」では、動物園の飼育動物に関連した写真や標本を紹介し、豊橋総合動植物公園内の施設が連携した活動を継続しています。

6 月 7、8 日には日本セトロロジー研究会第 35 回・勇魚会 2025 年度合同大会、12 月 13、14 日には 2025 年度軟体動物多様性学会が当館を会場として開催されました。どちらも一般の方を対象として普及講演会も開催し、多数の参加がありました。

市内小中学生の生物・地学をテーマにした自由研究の発表の場として定着している自然史博物館自由研究展では、市内小中学校 66 校、160 点の作品が集まりました。

3 月には、科学教育センターとともに、豊橋市科学教育の拠点施設（仮称）整備基本計画を策定し、市内の科学教育施設の機能を整理し、視聴覚教育センター・地下資源館、動植物公園と一体となって施設整備を行っていくこととなりました。

当館が文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関に指定後、初めての科学研究費助成応募の結果、学芸員 2 名の助成が決定しました。引き続き調査研究の推進をするとともに、その研究成果を基にした教育普及活動の質の更なる向上を目指していきます。

ここに年報第 38 号を発刊いたします。ご高覧の上、お気づきの点などについてご指導をいただければ幸いです。

令和 8 年 6 月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに

I. 年間事業.....	3
1. 令和7年度のあゆみ.....	3
2. 教育普及活動.....	4
(1) 第39回特別企画展「エイリアンプラ ント・バスターズ—侵略的外来植物対 策展—」	4
(2) 企画展	8
(3) トピック展示.....	8
(4) 博物館のウラワザ	8
(5) 大型映像	9
(6) 東三河ジオ資源活用推進事業	11
(7) ワークショップ・解説会など	11
(8) 総合動植物公園関連イベント	14
(9) 第21回自然史博物館自由研究展	15
(10) 自由研究相談	17
(11) 市民からの質問等対応	17
(12) 小中高等学校等の学習支援	17
(13) 博物館実習生の受け入れ	19
(14) インターンシップの受け入れ	19
(15) 出版活動	20
(16) 連携・共催事業等	20
(17) 講師・委員の派遣等	22
(18) ふるさと寄附体験型返礼品	24
(19) 博物館研究支援型カプセルトイ「ガ チャファン」販売	25
3. 学会等の開催	26
(1) 日本セトロロジー研究会第35回（豊橋 市）・勇魚会2025年度合同大会... ..	26
(2) 2025年度軟体動物多様性学会大会 （豊橋）	26
4. 調査研究活動	27
(1) 令和7年度博物館職員の学術活動等	27
(2) 外部研究資金助成等の獲得	32
5. 資料の収集・保管活動	33
(1) 採集資料	33
(2) 寄贈資料	33

(3) 収蔵資料状況（令和8年3月31日現 在）	36
(4) 剥製等の製作委託	36
(5) 植物生態模型の製作委託	36
(6) 外部研究者の資料利用	36
(7) 資料及び標本の貸出・借用	37
6. 施設整備	39
(1) 修繕	39
(2) 備品	39
II. 利用状況	40
1. 入館者	40
(1) 自然史博物館利用統計	40
(2) 入館者種別	41
(3) ホームページ閲覧者数	42
(4) 石巻自然科学資料館入館者状況	43
III. 組織及び運営	44
1. 組織	44
(1) 運営組織	44
(2) 自然史博物館職員	44
2. 博物館の使用料等	45
3. 決算	46
(1) 令和7年度歳入歳出決算見込	46
4. 豊橋市自然史博物館協議会	47
5. 各種委員会	48
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会	48
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会	48
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選 定委員会	48
6. 自然史博物館ボランティア	49
IV. 条例、規則、要綱	51
V. 自然史博物館の概要	58

I. 年間事業

1. 令和7年度のあゆみ

- | | | | |
|-------|---|--------|---|
| 7.4.1 | 大型映像「おしりたんてい コズミックフロント」2D版、「シークレット・オブ・ザ・シー」3D・2D版
(3.1~6.15) | 11.2 | 名古屋大学出前授業①「樹木の年輪が語る気候と人間の歴史」 |
| 4.1 | トピック展示「総合動植物公園内で見られるセミ」(~8.3.31) | 11.8 | 第21回自然史博物館自由研究展表彰式 |
| 4.19 | 「国際博物館の日」記念企画展「新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展」
(~6.1) | 11.10 | 豊橋市科学教育の拠点施設(仮称)整備基本計画の策定 |
| 4.28 | 臨時開館 | 11.16 | 名古屋大学出前授業②「恐竜時代の日本の大地殻変動」 |
| 5.11 | 博物館ボランティア総会 | 11.24 | 名古屋大学出前授業③「森林(もり)は動く?!熱帯から温帯の森での調査談」 |
| 5.22 | 秋篠宮皇嗣殿下ご視察のため来館 | 11.30 | 名芸大ミュージアム・コンサート |
| 6.7 | 日本セトロロジー研究会第35回(豊橋市)・勇魚会2025年度合同大会
(~6.8) | 12.13 | 2025年度軟体動物多様性学会
(~12.14) |
| 6.17 | 第1回自然史博物館研究委員会 | 12.13 | 企画展「干支展『ウマ』」(~8.1.18) |
| 7.11 | 第39回特別企画展「エイリアンプラント・バスターズ—侵略的外来植物対策展—」(~8.31) | 12.18 | 恐竜大掃除 |
| 7.19 | ナイトZOO(~9.28) | 8.2.17 | 第2回自然史博物館協議会 |
| 7.25 | 第1回自然史博物館協議会 | 2.18 | 園内防災訓練 |
| 7.25 | 博物館実習生の受入れ(~8.1) | 2.25 | 第3回自然史博物館研究委員会 |
| 7.26 | 企画展「のんびいソパークだからできること『標本となった飼育個体』」
(~8.31) | 2.28 | 大型映像「恐竜大陸」3D・2D版、
「タートルオデッセイ」3D・2D版
(~6.21) |
| 8.1 | トヨタ自動車技能系社員研修の受入れ(~8.31) | 3.18 | 豊橋市科学教育の拠点施設(仮称)整備基本計画の公表 |
| 8.5 | 夏季インターンシップの受入れ(~8.31) | 3.20 | ホームページリニューアル |
| 8.12 | 臨時開館 | 3.30 | 臨時開館 |
| 9.27 | 大型映像「超巨大恐竜」3D・2D版、
「ディノ・ダナ」3D・2D版(~8.2.27) | | |
| 10.1 | 第2回自然史博物館研究委員会
(~10.7) | | |
| 11.1 | 第21回自然史博物館自由研究展(~11.24) | | |

2. 教育普及活動

(1) 第39回特別企画展「エイリアンプラント・バスターズ—侵略的外来植物対策展—」

開催期間：令和7年7月11日（金）

～8月31日（日）46日間

会場：特別企画展示室（約600㎡）

主催：豊橋市自然史博物館

概要：日本に次々と侵入し、自然生態系や生活に被害をもたらす外来植物をテーマに、植物の精巧模型や実際に使われている駆除機械などを展示した。近年、侵略的外来水生植物の農業・水産業・治水利水・生態系等に与える影響が、全国的に懸念されている。豊橋も、特定外来生物の植物2種（ヒガタアシ・ミズヒマワリ）の日本初記録の地として知られており、外来種の侵入危険性が高い地域であると見なされる。豊橋を中心とする愛知には、現時点で特定外来生物ヒガタアシのほぼ根絶に成功していると見られる世界に誇る事例があるが、関係者を除き知名度が極めて低いため、これを紹介した。また、侵略的外来植物について、生物学的知見から駆除用機械まで幅広く学ぶ機会を提供し、市民の方々の協力を得ながら、早期発見・迅速対応の徹底など、外来種との今後の付き合い方を考えた。

展示点数：100点



【展示構成】

次の3点に着目して実施した。

I. 外来植物の駆除機械・技術の展示

II. 外来植物の模型・標本展示

III. 植物以外の分野の外来種についての展示

【特別企画展記念解説会】

①愛知発の世界的快挙！外来植物ヒガタアシのほぼ根絶までの軌跡

講師：日本スパルティナ防除ネットワーク
花井隆晃さん

期日：令和7年7月19日（土）

場所：自然史博物館 特別企画展示室内

参加者：71人

内容：豊橋市に定着した“侵略的”外来植物ヒガタアシの発見からほぼ根絶までの軌跡を解説した。

②侵略的外来植物ナガエツルノゲイトウは駆除できるのか？

講師：エコロジー研究所 丸井英幹さん

期日：令和7年7月20日（日）

場所：自然史博物館 特別企画展示室内

参加者：67人

内容：ナガエツルノゲイトウの安易な駆除が被害を拡大。その原因を紐解き、正しい駆除方法を実例とともに紹介した。

③クラムシェル〜外来植物をつかみ取る大型クレーンアーム〜

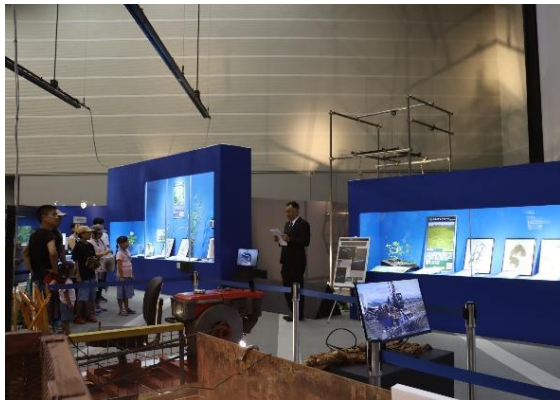
講師：東洋建設株式会社 清水達也さん

期日：令和7年8月2日（土）

場所：自然史博物館 特別企画展示室内

参加者：88人

内容：幅1.5m オーバーの大型クレーンアームによる外来植物の駆除について解説した。



④外来植物を“ひっくり返して”簡単に除去できる淀川式除去手法

講 師:株式会社建設技術研究所 瀬口雄一さん

期 日:令和7年8月3日(日)

場 所:自然史博物館 特別企画展示室内

参加者:76人

内 容:地域の自然を脅かす外来水生植物と闘う、誰にでもできる効果的な方法を紹介した。



⑥豊橋市の生態系を守れ!～身近に潜む侵略的外来種たち～

講 師:山崎健(当市環境保全課職員)

期 日:令和7年8月22日(金)

場 所:自然史博物館 特別企画展示室内

参加者:74人

内 容:市内で見られる“やっかいな”侵略的外来種の駆除活動について詳しく紹介した。



⑦水辺の困った外来植物を特製クマデで撃退します!

講 師:株式会社アズマ 桂田知子さん

期 日:令和7年8月23日(土)

場 所:自然史博物館 特別企画展示室内

参加者:50人

内 容:湖や沼で問題になっている侵略的外来水生植物に対する、特製クマデを使った駆除方法を紹介した。

⑤外来水生植物と水草刈取船

講 師:株式会社テクアノーツ 東日本設計部 笹本敦志さん

期 日:令和7年8月6日(水)

場 所:自然史博物館 特別企画展示室内

参加者:48人

内 容:外来水生植物と水草刈取船の開発秘話から現場の苦労話までを紹介した。

⑧北欧スウェーデンからやってきた水陸両用・はたらく機械

講 師:有限会社大新:竹村正道さん

期 日:令和7年8月24日(日)

場 所:自然史博物館 特別企画展示室内

参加者:119人

内 容:いままで入りづらかった場所での外来植物駆除を可能としたマシンと、その様々なオプションを紹介した。

【関連行事】

①とよはし版 GIGA スクール事業オンライン スタディ

講 師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和7年7月14日（月）

対 象：小学5・6年生、中学3年生

場 所：オンラインで繋いだ特別企画展会場
及び豊橋市内市立小中学校

参加者：1,226人

内 容：特別企画展会場からオンライン授業
として特別企画展の展示解説を行い、
担当学芸員と参加児童による質疑応
答を実施。

②夜間開館時のナイトバージョンによる展示

特別企画展としては昨年度に引き続き、ナイトバージョンによる展示手法を取り入れた。会場内の照明を極力抑え、大型スクリーンや、各所に配置したランタン類のみとした。会場入口で貸し出すLEDライトで観覧するもので、昼の安定した照明下と一味違う、新たな気づきにつながる教育的効果も期待し開催した。

【外部機関との連携】

①地球のお宝大集合「博物マニア」への出展

連携先：博物マニア実行委員会

講 師：一田昌宏（当館主任学芸員）、丹羽美春（当館主任学芸員）、坂本博一（当館主任学芸員）、菊地波輝（当館学芸員）

期 日：令和7年6月7日（土）・8日（日）

場 所：吹上ホール第1ファッション展示場
（名古屋市）

参加者：272人（ワークショップ参加者）

内 容：会場内で、特別企画展PRイベントを行った。

【事業費】

総事業費 11,978,000円（予算額）

9,448,873円（決算額）

【観覧者数】

有料 3,648人

無料 2,811人

合計 6,459人

（1日平均140人）

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7月	18日間	1,125	1,123	2,248
8月	28日間	2,523	1,688	4,211
計	46日間	3,648	2,811	6,459

【観覧料】

大人 900円

小中学生・市内在住70歳以上 300円

【印刷物】

- ・ポスター B2カラー（2,000枚）
- ・広報用チラシ A4カラー（350,000枚）
- ・招待券 カラー（1,500枚）
- ・トレーディングカード（5,000枚）

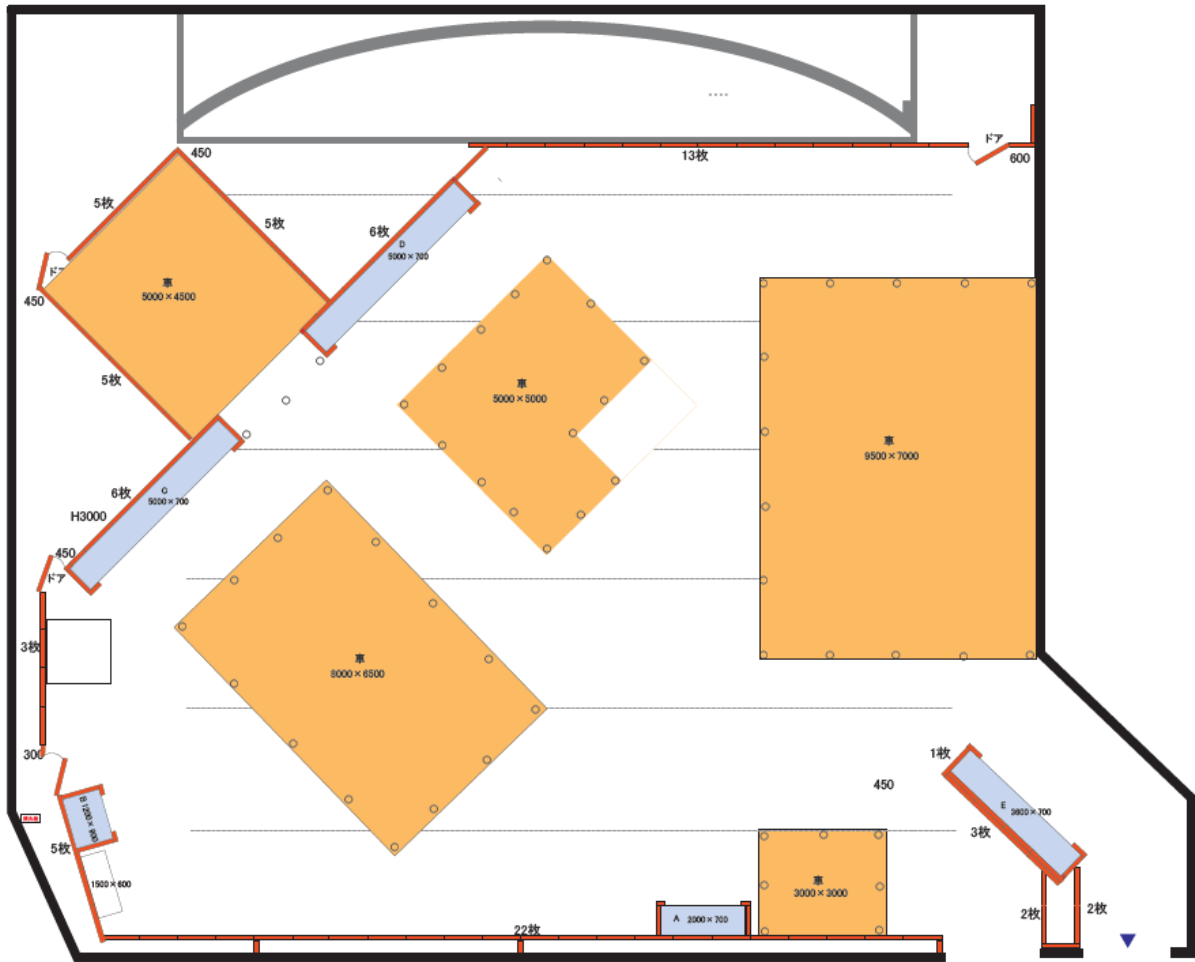
【広報】

- ・館公式ホームページ、X、Instagram
- ・PR TIMES への投稿、掲載（企画部・広報広聴課）
- ・学校、近隣施設等へのポスター・チラシ送付
- ・ラジオ出演など各種マスコミへの広報対応
- ・PTA とよはしへの広告掲載
- ・広報動画の上映

【協力者・協力機関等】

中井克樹、科学研究助成費（19K12447・24K15417；研究代表者：上河原献二）

【会場図】



(2) 企画展

1) 新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展

開催期間：令和7年4月19日（土）～6月1日（日） 39日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：博物館に新たに収蔵された資料、学芸員の最新の研究成果などを紹介。

会期中入場者数：112,054人



2) のんほいパークだからできること「標本となった飼育個体」

開催期間：令和7年7月26日（土）～8月31日（日） 33日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：標本となった動物園の飼育個体を展示し、標本として残す意義や標本から分かることを紹介。また、7/29「トラの日」、8/12「ゾウの日」に因み、トラやゾウに関する話題も紹介。開催に合わせて、サーバル頭骨の縮小レプリカ（1,500円／個、200個）を販売。

会期中入場者数：108,490人

3) 干支展「ウマ」

開催期間：令和7年12月13日（土）～令和8年1月18日（日） 29日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

協力：浜松市博物館

概要：2026年は午年。馬をはじめ、干支の生きものにまつわるいろいろな標本を紹介。

会期中入場者数：56,059人



(3) トピック展示

1) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：令和7年4月1日（火）～6月8日（日）、7月23日（水）～令和8年3月31日（日）

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：602,701人

2) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：令和7年6月10日（火）～7月21日（月）

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：33,896人

(4) 博物館のウラワザ

平成30年度の企画展で製作した博物館資料作製作業ブースを自然史スクエアに設置。月替わりで、分野ごとの資料作製作業を展示した。
日時：土・日曜日（隔週）、祝日 13:30～14:30

月	分野
4月	植物
5～6月	魚類
7月	貝類
8～10月	昆虫
11～12月	化石
1月	脊椎動物
2～3月	岩石・鉱物

(5) 大型映像

1) 上映状況

①上映期間 令和7年4月1日(火)～6月15日(日)

【通常上映】

「おしりたんてい コズミックフロント」

2D版(25分)

「シークレット・オブ・ザ・シー」

3D版・2D版(40分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
おしりたんてい 2D版	600	300
シークレット・オブ・ザ・シー 3D版	800	400
シークレット・オブ・ザ・シー 2D版	600	300

②上映期間 令和7年9月27日(土)～令和8年2月27日(金)

【通常上映】

「超巨大恐竜」

3D版・2D版(35分)

「ディノ・ダナ」

3D版・2D版(45分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
超巨大恐竜 3D版	800	400

超巨大恐竜 2D版	600	300
ディノ・ダナ 3D版	800	400
ディノ・ダナ 2D版	600	300

③上映期間 令和8年2月28日(土)～令和8年3月31日(火)

【通常上映】

「恐竜大陸」

3D版・2D版(32分)

「タートルオデッセイ」

3D版・2D版(41分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
恐竜大陸 3D版	800	400
恐竜大陸 2D版	600	300
タートルオデッセイ 3D版	800	400
タートルオデッセイ 2D版	600	300

令和7年度 大型映像観覧者数（上映回数は998回）

区分		上映(開場) 日数	観覧者総 数 (人)	会期中 の 入館者 数 (人) (※1)	観覧率	年間優待券 (購入) (円) (※2)	観覧料 (円)
4/1～6/15 おしりたんてい シークレット・オブ・ザ・シー	4月	27日間	3,631	68,905	5.3%	64,500	1,122,400
	5月	27日間	3,307	66,618	5.0%	65,000	1,027,200
	6月	11日間	1,078	24,556	4.4%	18,500	256,100
【大型映像】 前期		小計	8,016	160,079	5.0%	148,000	2,405,700
9/27～2/27 超巨大恐竜 ディノ・ダナ	9月	3日間	678	18,142	3.7%	35,000	194,200
	10月	27日間	3,491	56,267	6.2%	129,000	1,012,100
	11月	26日間	3,964	85,201	4.7%	65,000	1,282,760
	12月	24日間	1,535	27,429	5.6%	41,500	508,900
	1月	26日間	2,934	40,634	7.2%	43,000	942,300
	2月	23日間	2,734	38,331	7.1%	59,000	827,000
2/28～3/31 恐竜大陸 タートルオデッセイ	2月	1日間	256	3,682	7.0%	0	66,200
	3月	27日間	5,027	71,915	6.9%	132,500	1,455,380
【大型映像】 後期		小計	20,619	341,601	6.0%	505,000	6,288,840
合 計		222日間	28,635	501,680	5.7%	653,000	8,694,540

※1 上映していない期間を除く

※2 特別企画展準備期間の年間優待券の売上は6月、終了後の売上は10月に含める。

(6) 東三河ジオ資源活用推進事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、東三河8市町村と連携し、これらを保全・保護し、観光資源として活かす活動に取り組んでいる。

令和5年度から、新城市に事務局を置く「東三河ジオ資源活用推進連絡会」の名称で、東三河8市町村が連携して教育、観光の両面からジオ資源を活用する取り組みを強化した組織として事業を展開している。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを開催した。活用推進連絡会では、「東三河ジオ巡り デジタルスタンプラリー」を開催した。また、ジオガイドの育成等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオのみどころの紹介及び教育普及、新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを開催した。

ジオツアー「川原の石はどこから？」

講師：丹羽美春（当館学芸員）、加藤千茶子（科学教育センター学芸専門員）

期 日：令和7年7月19日（土）

場 所：新城市、設楽町ほか

参加者：15人

内 容：豊川の川原の石のルーツを探る。

2) 東三河ジオ資源活用推進連絡会

第1回

期 日：令和7年5月14日（水）

場 所：新城市 市民センターほうらい

出席職員：吉川博章

第2回

期 日：令和7年11月5日（水）

場 所：新城市 市民センターほうらい

出席職員：吉川博章、丹羽美春

3) 東三河ジオ資源活用推進連絡会作業部会

第1回

期 日：令和7年6月13日（金）

場 所：新城市役所

出席職員：丹羽美春

第2回

期 日：令和7年9月24日（水）

場 所：新城市 市民センターほうらい

出席職員：丹羽美春

第3回

期 日：令和8年1月29日（木）

場 所：新城市役所

出席職員：丹羽美春

4) 地質資源を活用した教育活動及び観光振興に関する事業

「東三河ジオ巡り デジタルスタンプラリー」

期 日：令和7年7月18日（金）～9月30日（火）

参加者：197人



(7) ワークショップ・解説会など

地学や生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。令和7年度は、講演会、ワークショップ、解説会、収蔵庫見学会、名古屋大学出前授業を開催した。

1) 講演会

①国内の動物園水族館での鳥類飼育について

講 師：高見一利さん（総合動植物園長）

期 日：令和8年1月4日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：30 人

2) ワークショップ

合計 20 回開催、合計参加者数 878 人

名称	期日	参加者 (人)	開催場所	担当学芸員
リアル化石クリーニング体験	5/17	5	当館研究棟	一田昌宏
リアル化石クリーニング体験	5/18	5	当館研究棟	一田昌宏
潮干狩りで生きものを探そう	5/24	20	前芝海岸	西 浩孝
リアル化石クリーニング体験	5/31	2	当館研究棟	一田昌宏
化石と鉱物のレプリカを作ろう（博物マニア）	6/7～8	272	吹上ホール	一田昌宏、丹羽美春、坂本博一、菊地波輝
石巻山でカタツムリを観察しよう	6/14	20	石巻山	西 浩孝
リアル化石クリーニング体験	6/14	6	当館研究棟	一田昌宏
虫と遊ぼう	6/15	100	当館イントロホール	長谷川道明、菊地波輝、 当館ボランティア
リアル化石クリーニング体験	7/13	5	当館研究棟	一田昌宏
ジオツアー「豊川の石はどこから？」	7/19	15	豊橋市、新城市、設楽町	丹羽美春、加藤千茶子（科学教育センター）
外来魚調査隊	7/23	29	向山大池	坂本博一
砂の中から微小貝を探そう	7/29	28	当館講堂	西 浩孝
気になる鉱物や岩石を見分けてみよう	7/30	30	当館講堂・学習室 1	丹羽美春
チリモン探し体験	7/31	37	当館講堂	坂本博一
リアル化石クリーニング体験	8/6	1	当館研究棟	一田昌宏
小さな鉱物を探してみよう	8/7	13	当館講堂・学習室 1	加藤千茶子（科学教育センター）
アンモナイト・水晶レプリカづくり	8/7	74	イオンモール豊川	一田昌宏、稗田真也
スズメバチの巣を解体してみよう	11/23	170	当館ピロティ	長谷川道明、菊地波輝、 当館ボランティア
リアル化石クリーニング体験	12/20	6	大垣市	一田昌宏、丹羽美春
アンモナイトレプリカづくり （のんほい GO！2026）	3/7	40	当館学習室 1	吉川博章



▲砂の中から微小貝を探そう (7/29)



▲小さな鉱物を探してみよう (8/7)

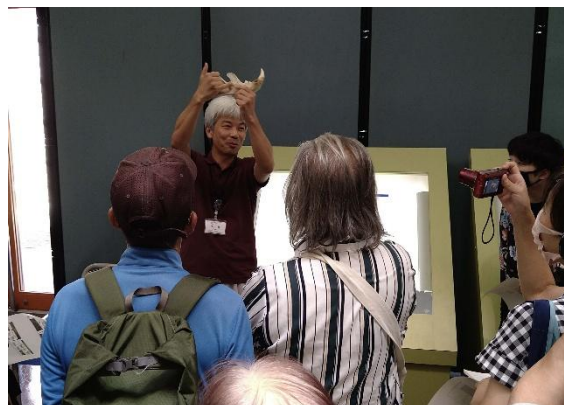
3) 解説会・収蔵庫見学会

学芸員がそれぞれの専門分野について、博物館内で行う解説会と収蔵庫見学会。申込及び参加不要。
合計 15 回開催、合計参加者数 782 人。

名称	期日	参加者 (人)	担当
収蔵庫見学会「骨」	4/12	40	安井謙介
解説会「ため池の生きもの」	4/19	22	西 浩孝
収蔵庫見学会「岩石鉱物」	6/28	35	丹羽美春
特別企画展開催記念解説会「愛知発の世界的事例！ 外来植物ヒガタアシのほぼ根絶までの軌跡」	7/19	71	日本スパルティナ防除ネットワーク 花井隆晃さん
特別企画展開催記念解説会「侵略的外来植物ナガエ ツルノゲイトウは駆除できるのか？」	7/20	67	エコロジー研究所 丸井英幹さん
特別企画展開催記念解説会「クラムシェル〜外来植物 をつかみ取る大型クレーンアーム〜」	8/2	88	東洋建設株式会社 清水達也さん
解説会「豊橋にトラがいたころ」	8/2	32	安井謙介
特別企画展開催記念解説会「外来植物を“ひっくり返して”簡単に除去できる淀川式除去手法」	8/3	76	株式会社建設技術研究所 瀬口雄一さん
特別企画展開催記念解説会「外来水生植物と水草刈取船」	8/6	48	株式会社テクアノーツ 東日本設計部 笹本敦志さん
特別企画展開催記念解説会「豊橋市の生態系を守れ！～身近に潜む侵略的外来種たち～」	8/22	74	山崎 健（当市環境保全課職員）
特別企画展開催記念解説会「水辺の困った外来植物を特製クマデで撃退します！」	8/23	50	株式会社アズマ 桂田知子さん
特別企画展開催記念解説会「北欧スウェーデンからやってきた水陸両用・はたらく機械」	8/24	119	有限会社大新 竹村正道さん
収蔵庫見学会「昆虫」	10/25	23	菊地波輝
収蔵庫見学会「魚」	2/14	25	坂本博一
収蔵庫見学会「貝」	3/1	12	西 浩孝



▲収蔵庫見学会「岩石鉱物」(6/28)



▲解説会「豊橋にトラがいたころ」(8/2)

4) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2025

平成26年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。

名称	期日	参加者 (人)	講師
樹木の年輪が語る気候と人間の歴史	11/2	28	中塚 武さん(環境学研究科地球環境科学専攻教授)
恐竜時代の日本の大地殻変動	11/16	47	竹内 誠さん(環境学研究科地球環境科学専攻教授)
森林は動く?!熱帯から温帯の森での調査談	11/24	27	中川弥智子さん(生命農学研究科森林・環境資源科学専攻准教授)

5) JR ワークショップ

令和4年度からJR 東海ツアーズと協働し、旅のコンテンツポータルで体験型旅行プランを提供している。開催回数：18回、参加人数：31人。

ワークショップ	参加者(人)	担当学芸員
化石クリーニング体験(三葉虫)	2	一田昌宏
チリモン探し体験	18	坂本博一
岩石プレパラート作製体験	1	丹羽美春
恐竜学者になろう	3	安井謙介
化石クリーニング体験(三葉虫+アンモナイト)	7	一田昌宏

(8) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイトZOO

のんほいパークのナイトZOOの開催に合わ

せ、常設展及び特別企画展の夜間観覧を行った。

開催期日：①ナイトミュージアムに同じ

開催時間：午後5時～午後9時

表彰式・優秀作品発表会：令和 7 年 11 月 8 日
(土) 13:00~14:00

会 場：イントロホール、自然史スクエア他
応募総数：160 点（小学校 47 校 126 点、中学校 19 校 34 点）

※市内小中学校各校から 3 点以内を選抜して応募。ただし小学校 24 クラス以上、中学校 18 クラス以上の場合は 4 点以内とした。



<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

嵩山小学校 3 年 河合匠登

「岩田運動公園のトンボ パート 2」

【中学生】

本郷中学校 3 年 稲田 凌

「オカヤドカリⅦ オカヤドカリが長生きするための重要な条件」

○優秀賞

【小学生】

八町小学校 5 年 池田めい

「セミの抜けがら標本 あしの長さにちがいはあるの？ もっと知りたいセミのこと」

吉田方小学校 6 年 東島みもろ

「一滴の水でゴキブリは、本当に 30 日間生き残れるの？ ～ゴキブリの生きた証～」

吉田方小学校 6 年 前田紗椰

「アマガエルの体色はどのように変化するの？Part2 ～光の明るさを変えて～」

玉川小学校 6 年 佐野寛太

「神田川的环境調査 一川の水質について」

○奨励賞

【小学生】

花田小学校 5 年 藤城波瑠

「家の周り等の雑草調べ Part4 ～自然の中で共に生きる外来植物と在来植物～」

飯村小学校 6 年 星 淳登

「袋井市掛川層群で発見した耳石と他の地層との比較について」

花田小学校 4 年 西山彩菜

「ついに完成 ニワトリの骨格標本 恐竜と鳥の骨をくらべるパート 3」

嵩山小学校 4 年 吉田陽満理

「嵩山に生息するホタルの見ごろ調査」

岩田小学校 5 年 三浦 樹

「朝顔の花を咲かせるには？」

八町小学校 6 年 渥美 竹尋

「微生物の増え方について ～ボルボックスとミジンコ編～」

【中学生】

青陵中学校 1 年 平尾知士

「イモムシの観察 Part5 チョウの越冬 アサギマダラは最低何度までたえられるのか②」

石巻中学校 3 年 一木暖友

「住宅に飛んでくるクワガタ、カブトムシの数 Part4 (2025 年) andLED」

○入選

【小学生】

高師小学 5 年 小野夏寧

「ミミズがつなぐゴミと土 ミミズとゴミで地球にやさしく人の役に立つ堆肥をつくらう」

鷹丘小学校 1 年 志岐梓紗

「アサガオのさくしゅんかんをみてみよう！」

大崎小学校 6 年 今木日向

「つめの伸び方についてクイズにしてみた！」

新川小学校 4 年 吉原京平

「～No.1 ビーチ～ 砂が細かくて、サラサラなのはどこ？In 東三河」

花田小学校 6 年 村山瑛音

「犬の科学」

天伯小学校 5 年 中村優杏

「海水からの大発見パート 2」

牛川小学校 6 年 辻村昭太

「川の石の研究」

岩西小学校 5 年 吉岡慶真

「ニホンアマガエルの体の色の変化について」

鷹丘小学校 6 年 牧野悠桜

「ふ化するまでの日数 〜メダカ〜」

牛川小学校 5 年 川幡陽音

「動物の歯の秘密」

栄小学校 5 年 中村奏太

「努力で視力は回復するのか」

旭小学校 4 年 高桑 英

「お父さんは天気予報」

【中学生】

章南中学校 3 年 白谷瑠皇

「砂浜の砂鉄調べ」

青陵中学校 3 年 浪崎彩歌

「成長した石の正体」

(10) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間

内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。

参 加 者：26 件 67 人

(内訳)

分野	件数	人数
化石	3	8
岩石	5	14
昆虫	6	11
貝類	3	6
魚類	3	6
脊椎動物	4	10
テーマ未定	2	12
計※	26	67

※複数分野にまたがる質問があったため、集計すると実際の件数、人数より多くなっている。

(11) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、メール等による市民からの質問等について学芸員が対応している。令和 7 年度の内訳は以下のとおり。

分野	件数
化石	34
地質岩石	13
昆虫	13
貝類	17
魚類	0
脊椎動物	20
植物	0
その他	4

(12) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

平成 16 年度から「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の 5 つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする 1 クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。令和 7 年度の館外貸出は 10 回 661 人、館内利用は 2 回 113 人であった。

化 石：古生代～新生代の化石 (10 セット)、化石レプリカ製作用型 4 種 (20 セット)

脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本 3 種 (10 セット)、ネコ全身骨格標本 (1 セット)、動物の歯レプリカ作製用型 (20 セット)

ドングリ：ブナ科植物 6 種のさく葉および堅果標本

昆 虫：昆虫標本 3 種 (5 セット)、国語の教科書に登場する昆虫 (3 セット)

岩 石：東三河地域の堆積岩 10 種 (10 セット)、豊川流域の岩石 10 種 (5 セット)、火山灰観察セット (1 セット)

標本貸出セット実績① 館外貸出

期間	利用者	内容	人数
5/16-5/23	二川小学校	昆虫標本 B	53
5/23-6/8	二川小学校	昆虫標本 A	53
6/17-6/19	大清水小学校	昆虫標本 (3 種)	36
11/28-12/5	津田小学校	化石レプリカ製作用型 (4 種)	27
8/22・11/8	豊橋市理科学研究部 (子どものための 科学展)	化石レプリカ製作用型 (4 種)	—
12/6-12/13	老津小学校	化石レプリカ製作用型 (4 種)	32
1/15-1/21	東陽中学校	クジャクヤママユ標本	155
1/19-1/23	東陽中学校	堆積岩、豊川、新生代の化石、化石レプリカ	155
1/23-2/3	章南中学校	クジャクヤママユ標本	59
2/6-2/17	つつじが丘小学校	古生代から新生代の化石、東三河の堆積岩	91

標本貸出セット実績② 館内利用 (出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む)

期日	利用者	内容	人数
10/21	ほっとプラザ中央	化石レプリカ製作用型	15
1/14	石巻中学校	豊川流域の岩石類	98

2) 職場体験学習等

主に中学2年生を対象に行われる職業体験学習として10校から10人を受入れた。博物館の業務概要及び学芸員の仕事について説明した。

期間	学校名	人数
5/27～29	二川中学校	1
6/3～5	羽田中学校	1
8/21～22	新城中学校	1
9/9～11	田原市東部中学校	1
10/7～9	青陵中学校	1
10/15～16	五並中学校	1
10/21～23	豊岡中学校	1
10/29～31	章南中学校	1

11/5～7	本郷中学校	1
11/26～28	高師台中学校	1

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習 (小学校4年生対象) の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画を立て、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像・特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

- ・参加校数：5校
- ・参加児童数：373人

4) 学校等の学習利用

期日	利用者	内容等	人数
7/23	名古屋市立向陽高等学校	スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 連携講座	21
8/26	時習館サイエンスフェスタ	時習館高校生による常設展示案内など	128
11/9	科学教育センター	子どものための科学展 (虫と遊ぼう!)	120
11/13	専門学校 浜松ルネサンス・ペ ット・アカデミー	学芸員業務を中心にした骨格標本や各生 体の違いについて。	19
12/11	専門学校 浜松ルネサンス・ペ ット・アカデミー	学芸員業務を中心にした骨格標本や各生 体の違いについて。	19

5) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されており、配架図書の選定に協力した。

(13) 博物館実習生の受け入れ

1) 令和7年度博物館実習

①実習生 (6 大学 6 名)

人間環境大学、愛知大学、三重大学、愛媛大学、東京海洋大学大学院、琉球大学

②実習日程・内容

期日	内容
7/25	オリエンテーション、博物館経営論、同展示概論・同資料保存概論、館内展示レクチャー
7/26	ナイトミュージアム調査方法検討・実施
7/27	昆虫アウトリーチ実習
7/29	化石実習
7/30	貝類実習、植物実習
7/31	魚類アウトリーチ実習
8/1	来館者動線調査・まとめ、発表、講評

2) 大学の博物館学関連実習等

①人間環境大学

月 日：令和7年5月17日 (土)

内 容：博物館の見学実習

参加者：12 人

②名古屋芸術大学

月 日：令和7年5月25日 (日)

内 容：博物館の見学実習

参加者：6 人

③人間環境大学

月 日：令和7年12月6日 (土)

内 容：博物館の見学実習

参加者：74 人

④岐阜聖徳学園大学

月 日：令和8年3月1日 (日)

内 容：博物館の見学実習

参加者：30 人

⑤愛知教育大学

月 日：令和8年3月25日 (水)

内 容：博物館の見学実習

参加者：12 人

(14) インターンシップの受け入れ

1) インターンシップ

①氏 名：望月楓仁さん

所 属：愛知大学文学部3年

期 間：令和7年8月5日 (火) ～

- 8月9日(土)
- ②氏 名：中村怜生さん
所 属：愛知大学文学部3年
期 間：令和7年8月5日(火)～
8月9日(土)
- ③氏 名：辻村美邑さん
所 属：愛知大学文学部3年
期 間：令和7年8月10日(日)～
8月14日(木)
- ④氏 名：藤田将来さん
所 属：人間環境大学環境科学部3年
期 間：令和7年8月15日(金)～
8月20日(水)
- ⑤氏 名：松井香奈さん
所 属：愛知教育大学教育学部3年
期 間：令和7年8月21日(木)～
8月26日(火)

- ⑥氏 名：池田小春さん
所 属：愛知大学文学部3年
期 間：令和7年8月21日(木)～
8月26日(火)
- ⑦氏 名：菅谷翔大さん
所 属：豊橋創造大学経営学部3年
期 間：令和7年8月27日(水)～
8月31日(日)

2) その他

トヨタ自動車 技能系社員研修

- ①氏 名：宇都口鉄平さん
所 属：トヨタ自動車(株)田原工場
期 間：令和7年8月1日(金)～
8月31日(日)

(15) 出版活動

令和7年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第37号	A4 58 頁	—	7.6.30	ホームページ PDF 公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館研究報告 第36号 (ISSN 0917-1703)	A4 81 頁	500	8.3.23	関係機関	研究報告・論文
豊橋市自然史博物館資料集第29 号「山崎芳江氏寄贈貝類目録」 (ISSN 0919-1526)	A4 241 頁	500	8.2.27	関係機関	収蔵標本目録
豊橋市自然史博物館トレーディング カード Vol.1「エイリアンプラ ント・バスターズ」	6.0×9.5 cm	5,000	7.7.11	一般(500円/ 1セット5枚)	特別企画展開 連印刷物

(16) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携協定

平成26年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、令和7年度は下記の連携事業を行った。

- ①博物館職員による講義
- ・小学校教員養成科目「理科指導法」での講義
期 日：令和7年6月24日(火)

- 場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介(学芸専門員)
人 数：24人
- ・小学校教員養成系科目「理科」での講義
期 日：令和7年12月16日(火)
場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介(学芸専門員)
人 数：11人

②特別企画展 PR 用展示模型製作・展示

展示期間：令和 7 年 7 月 11 日（金）～8 月 31 日（日）

場 所：豊橋市自然史博物館

内 容：芸術学部講師の加藤真浩さん監修のもと、芸術学部学生 4 人が作製した外来植物駆除装置の模型を展示。



③芸術学部芸術学科音楽領域の学生によるミュージアムコンサート

期 日：令和 7 年 11 月 30 日（日）

会 場：自然史スクエア

内 容：フルート、ヴァイオリン、ピアノの三重奏グループによる演奏会

参加者：295 人

④教育学部学生による展示解説実習

内 容：教育学部学生が恐竜劇場内のリサーチテーブルにて、来館者向けの展示解説を実施した。

・期 日：令和 7 年 5 月 25 日（日）

場 所：中生代展示室恐竜劇場

・期 日：令和 7 年 11 月 30 日（日）

場 所：中生代展示室恐竜劇場

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

※東海地方の大学、研究機関、博物館 27 機関が参加（令和 7 年 12 月現在）

・夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2025 期間中（令和 7 年 7 月 19 日～8 月 31 日）の自然史博物館行事に参加イベントとして登録

・あいちサイエンスフェスティバル 2025 の一環として、トークセッション「いのちの記録：飼育動物が残す科学への贈りもの」を令和 7 年 11 月 29 日（土）に豊橋総合動植物公園（ひだまり交流館）にて開催（参加者 37 人）

・「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催（科学教育センターと共同開催）

3) 企画展「干支展『ウマ』」

協 力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

・豊橋市自然史博物館

令和 7 年 12 月 13 日（土）～令和 8 年 1 月 18 日（日）

・浜松市博物館

令和 8 年 1 月 29 日（木）～3 月 8 日（日）

4) 東三河野鳥同好会観察会・普及講演会

豊橋市民に鳥類への親しみと学術的知見を持ってもらうとともに、野鳥を知ることによって自然に親しみ、自然を大切にする心を養うことを目的とした観察会と講演会を令和 8 年 1 月 4 日（日）に東三河野鳥同好会との共催で開催した。

①観察会

講 師：東三河野鳥同好会会員

場 所：豊橋総合動植物公園内

参加者：42 人

②講演会「国内の動物園水族館での鳥類飼育について」

講 師：高見一利さん（総合動植物園長）

期 日：令和 8 年 1 月 4 日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：30 人

5) とよはし科学月間

11月を「とよはし科学月間」として、本市の科学教育関連施設、高校、大学及び企業などが連携して、科学に関する様々な普及イベントを開催し、本市の科学教育の推進に努めた。

参加施設：豊橋市自然史博物館、豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館、こども未来館こここ、豊橋技術科学大学など

期間中の自然史博物館開催イベント：

- (1) 自然史博物館自由研究展
- (2) スズメバチの巣を解体してみよう
- (3) 名古屋大学出前授業 ① ② ③

6) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会

開催期間：令和7年6月20日（金）～令和8年2月23日（月・祝）

内 容：来館者がスタンプを押すスタンプラリーを実施。

(17) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。令和7年度はのべ16校で29時限実施し、1,018人が受講した。

令和7年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も1時限として集計）

No	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当学芸員
1	大清水小学校	3	36	昆虫のからだづくり	2	6/17	菊地
2	章南中学校	2	80	干潟の生き物	1	9/17	西
3	栄小学校	1	119	ぼく・わたしのダンゴムシ につこにこ大作戦	1	9/17	西
4	飯村小学校	1	105	飯村公園に発生する昆虫に親しもう	3	10/2	長谷川
5	松坂市立掃水小学校	1	27	カタツムリ調査隊 教えて！西先生	1	10/8	西
6	賀茂小学校	1	12	身近な昆虫の観察	1	10/21	長谷川
7	ほっとプラザ中央		15	化石について学ぼう（化石レプリカづくり）	1	10/21	一田
8	大清水小学校	3	37	身近な昆虫の観察	2	10/28	菊地
9	小沢・細谷小学校	1	34	どんぐりについて	1	11/18	稗田
10	汐田小学校	6	92	汐田小校区の土地の成り立ち	3	11/28	一田
11	向山小学校	3	60	ムカイヤマイスター	1	12/16	坂本
12	豊橋東高校	1～3	50	生物が起こした超寒冷化	1	12/19	一田
13	石巻中学校	1	98	大地をつくる石の話	3	1/14	丹羽
14	石巻中学校	1	98	化石の話	3	2/4	一田
15	東陽中学校	1	155	大地をつくる石の話	5	2/20	丹羽

2) 講義・講演

No	タイトル	依頼元	期日	人数	担当学芸員
1	ポケモン化石博物館関連講演会	福井県立恐竜博物館	4/26	200	一田
2	ホタルの生態と観察会	西郷小学校	6/6	100	菊地
3	化石に関する講演	博物マニア実行委員会	6/8	300	一田
4	理科教員養成講座授業	名古屋芸術大学	6/24	24	安井
5	第39回赤塚山公園自然観察会	豊川市赤塚山公園	6/29	21	西
6	名古屋市立向陽高校 SSH 講義	名古屋市立向陽高校	7/23	21	安井
7	トヨッキースクール	二川南学区	8/7	17	稗田
8	あなたの生活にも大打撃!? 侵略的外来植物問題を語る	まちなか図書館	8/17	32	稗田
9	未来へつなぐ自然史博物館：これまでの歩みと新たな挑戦	東三河懇話会	9/5	26	吉川
10	豊橋みなとライオンズクラブ第1151回保全例会（幸公園、幸小）	豊橋みなとライオンズクラブ	11/12	75	稗田
11	学外授業	ルネサンス・ペット・アカデミー	11/13	19	安井
12	学外授業	ルネサンス・ペット・アカデミー	12/11	19	安井
13	豊橋市内で見られるめずらしい昆虫の世界	八町文化協会	12/12	21	長谷川
14	理科教員養成講座授業	名古屋芸術大学	12/16	11	安井
15	図書館こどもフェスタ「自然史博物館長のおはなし会」	中央図書館	3/29	9	吉川

3) 委員等の委嘱、派遣等

①愛知県博物館協会実行委員会

委 員：菊地波輝

期 日：①令和7年5月1日（木）

②令和7年11月26日（水）

場 所：①名古屋市博物館

②豊橋市自然史博物館（研修）

②科学教育推進委員会

委 員：坂本博一、佐原立樹

期 日：①令和7年5月28日（水）

②令和7年6月27日（金）（WEB）

③令和7年9月5日（金）

④令和7年12月2日（火）

場 所：視聴覚教育センター

③あいちサイエンスフェスティバル2025実行委員会

委 員：安井謙介

期 日：①令和7年6月11日（水）

②令和8年3月5日（木）

場 所：リモート会議

④愛知県博物館協会理事会・総会

理 事：吉川博章

期 日：令和7年6月19日（木）

場 所：名古屋市科学館

⑤全国科学博物館協議会総会

出 席：吉川博章

期 日：令和7年7月3日（木）

場 所：WEB 参加

⑥外来植物の駆除に関する技術支援

依頼元：愛知県自然環境課

派遣者：稗田真也

期 日：令和7年7月24日（木）

場 所：常滑市西阿野地区

⑦豊橋市生態系ネットワークづくり懇話会委員

委 員：長谷川道明

期 日：①令和7年8月5日（火）

場 所：豊橋市上下水道局

期 日：②令和7年12月24日（水）

場 所：豊橋市役所

⑧ナガエツルノゲイトウ対策会議（講演及び現地確認）

依頼元：愛知県環境局

派遣者：稗田真也

期 日：令和7年9月18日（木）

場 所：知多郡東浦町勤労福祉会館ほか

⑨山崎川における希少陸産貝類の現地調査

依頼元：山崎川グリーンマップ

派遣者：西 浩孝

期 日：令和7年10月15日（水）

場 所：名古屋市 山崎川

⑩章南中学校環境学習会及び天然うなぎモニタリング調査

依頼元：汐川干潟を保全する会

派遣者：西 浩孝、坂本博一

期 日：令和7年10月17日（土）

場 所：汐川干潟

⑪企画展関連事業への講師派遣

依頼元：田原市教育委員会

派遣者：安井謙介

期 日：令和7年10月25日（土）

場 所：吉胡貝塚資料館

⑫愛知県博物館協会研修会

出 席：丹羽美春

期 日：令和8年2月5日（木）

場 所：愛知県陶磁美術館

⑬中部地方外来種対策会議への講師派遣

依頼元：中部地方環境事務所野生生物課

派遣者：稗田真也

期 日：令和8年2月26日（木）

場 所：中部地方環境事務所

⑭設楽ダム環境保全措置に係る職員派遣

依頼元：国交省設楽ダム工事事務所

派遣者：長谷川道明

期 日：令和8年3月11日（水）

場 所：タイムオフィス名古屋

（18）ふるさと寄附体験型返礼品

豊橋市のふるさと寄附の体験型返礼品として、自然史博物館では令和元年より「化石クリーニング体験」「ジオードクラック体験」を実施している。令和6年度からは「恐竜の調べ方を体験！恐竜学者になろう!!」も開始。令和7年度の申込数、実施数は以下の通り。

①化石の調査研究を体験「化石クリーニング体験」

内容：専用の機器を使って、三葉虫などの化石を岩石の中から取り出すクリーニング作業を学芸員とともに実施。クリーニングした化石は持ち帰ることができる。

担当学芸員：一田昌宏

※上限数：10件 申込数：3件 実施数：3件

②鉱物の調査研究を体験「ジオードクラック体験」

内容:専用の機器を使って、学芸員の指導の下、
ジオード(晶洞)を割って、中に形成さ
れた水晶を取り出す体験。晶洞は持ち帰
ることができる。

担当学芸員:丹羽美春

※上限数:10件 申込数:9件 実施数:9件

③恐竜の調べ方を体験!恐竜学者になろう!!

内容:学芸員と一緒にスピノサウルスのレプリ
カ標本を恐竜学者が実際に行っている
方法で調べ、恐竜研究の一端を体験。ま
た、ティラノサウルスの歯のレプリカを
自分で作り、持ち帰ることができる。

担当学芸員:安井謙介

※上限数:12件 申込数:7件 実施数:7件

**(19) 博物館研究支援型カプセルトイ「ガチャフ
ァン」販売**

教育普及活動用に収集した化石と鉱物を、担当
学芸員の手作りラベルとともにカプセルに封入
して9月から販売した。

3. 学会等の開催

(1) 日本セトロロジー研究会第35回（豊橋市）・ 勇魚会 2025 年度合同大会

日本セトロロジー研究会第35回（豊橋市）・勇魚会 2025 年度合同大会の特別講演会・研究発表・総会（日本セトロロジー研究会）を開催した。開催に先立ち、総合動植物公園を案内するエクスカーションを実施した。

期 日：令和 7 年 6 月 7 日（土）

エクスカーション・特別講演会

令和 7 年 6 月 8 日（日）

研究発表・総会

内 容：口頭発表（13 件）、ポスター発表（23 件）、特別講演会（242 名）、エクスカーション（22 名）

大会出席者：277 名

主 催：日本セトロロジー研究会、勇魚会

共 催：豊橋市教育委員会



(2) 2025 年度軟体動物多様性学会大会（豊橋）

2025 年度軟体動物多様性学会大会（豊橋）の研究発表・普及講演会を開催した。また、エクスカーションとして収蔵庫見学を実施した。

期 日：令和 7 年 12 月 13 日（土）～12 月 14 日（日）

内 容：口頭発表（15 件）、普及講演会（70 人）

大会出席者：40 人

主 催：軟体動物多様性学会

共 催：豊橋市教育委員会

普及講演会「砂の中のミクロな世界～間隙性ウミウシ類の多様性を探る～」

期 日：令和 7 年 12 月 14 日（日）

講 師：柏尾 翔さん（きしわだ自然資料館）

参加者：70 人



4. 調査研究活動

(1) 令和7年度博物館職員の学術活動等

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

吉川博章(館長：植物化石)

調査研究の主なテーマ

- ・新生代植物化石と堆積相解析による環境復元
- ・植物化石のタフオノミー的研究

令和7年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市大岩町の更新統産植物化石
- ・辻富夫氏寄贈の中新統平牧層産植物化石

1) 論文

(査読なし)

なし

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

5) 調査研究に係る出張

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

安井謙介(学芸専門員：脊椎動物)

調査研究の主なテーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・ストランディング及び海洋漂着物に関する研究とその展示・教育普及活動への活用

令和7年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市周辺から産出する更新世哺乳類化石について
- ・東三河地域の遺跡産出の動物遺体について
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・日本沿岸の漂着物の動向に関する基礎的研究
- ・東三河地方で得られた脊椎動物資料に関する

市民への情報発信

1) 論文

(査読あり)

なし

(査読なし)

①塩崎 彬・西間庭恵子・安井謙介・田島木綿子, 2026. 愛知県豊橋市で初記録されたコビレゴンドウ *Globicephala macrochynchus* のストランディング個体の死後調査報告. 豊橋市自然史博物館研究報告, (36): 11-17.

②岡村太路・三岡夏美・中山晃輔・杉山響己・西浩孝・安井謙介, 2026. 愛知県におけるコビレゴンドウ漂着の初記録. 豊橋市自然史博物館研究報告, (36): 75-78.

③安井謙介, 2026. 瓜郷遺跡第10次調査にて採集された動物遺存体について. 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第166集 市内遺跡発掘調査一 令和5年度一: 44.

2) 普及書等

①安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(122)「昨年度もいろいろ集めました」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 601: 5.

②安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(123)「鳥展を見てきました」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 602: 5.

③安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(124)「年に一度のお祭り騒ぎ」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 603: 5.

④安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(125)「70年ぶりの里帰り」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 604: 5.

⑤安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(126)「新顔登場!」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 605: 5.

⑥安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(127)「夏は終わったけれども・・・」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 606: 5.

⑦安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無いい話(128)「他山の“石”」. このはずく(東三河野鳥同好会会報), 607: 5.

⑧安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (129)「文献収集」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 608 : 5.

⑨安井謙介, 2025. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (130)「標本を残す、記録を残す」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 609 : 5.

⑩安井謙介, 2026. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (131)「学校に眠っていた宝物」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 610 : 5.

⑪安井謙介, 2026. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (132)「10年ぶりのモロッコ」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 612 : 5.

⑫安井謙介, 2025. 日本セトロロジー研究会第35回 (豊橋市)・勇魚会 2025 年度合同大会開催報告 御参加、御協力いただいた皆様に感謝！. セトケンニューズレター, (47) : 4.

3) 学会発表等

①安井謙介. “骨屋” のストランディング奮戦記—渥美半島沿岸に漂着した鯨類について— 特別講演. 日本セトロロジー研究会第35回 (豊橋市)・勇魚会 2025 年度合同大会. 6月7-8日, 豊橋市自然史博物館.

4) 学会、研究会等への参加

①日本セトロロジー研究会第35回 (豊橋市)・勇魚会 2025 年度合同大会
期日: 令和7年6月7日 (土) ~ 6月8日 (日)
場所: 豊橋市自然史博物館

5) 調査研究に係る出張

①豊橋市産出トラ化石等調査
期日: 令和7年10月14日 (月) ~ 10月15日 (火)

場所: 茨城県つくば市 (国立科学博物館)

②海洋漂着物調査

期日: 令和7年11月4日 (火) ~ 11月7日 (金)

場所: 沖縄県石垣市

③教育普及プログラム開発にかかる中生代脊椎動物化石の採集とその産地の調査 (科研費)

期日: 令和8年1月24日 (土) ~ 2月5日 (木)

場所: モロッコ

西 浩孝 (主任学芸員: 貝類)

調査研究の主なテーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・中部地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・博物館資料の情報公開

令和7年度の調査研究テーマ

- ・ナメクジ類の多様化と進化
- ・東海地方・宮崎県の貝類相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・三河地方の無脊椎動物相

1) 論文

(査読有)

なし

(査読なし)

①早瀬善正・西 浩孝・岩田明久, 2025. 三重県南部の陸産貝類 2. かきつばた, (50) : 61-70.

②西 浩孝・早瀬善正・岩田明久, 2025. 三重県南部のホラアナミジンコ新産地. かきつばた, (50) : 71-72.

③西 浩孝, 2026. 山崎芳江氏寄贈貝類目録. 豊橋市自然史博物館資料集 (29) : 1-241.

④岡村太路・三岡夏美・中山晃輔・杉山響己・西浩孝・安井謙介, 2026. 愛知県におけるコビレゴンドウ漂着の初記録. 豊橋市自然史博物館研究報告, (36) : 75-78.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

①西 浩孝. 岐阜県大垣市で確認されたカタママイマイ. 名古屋貝類談話会. 2025年6月8日 (日).

4) 学会、研究会等への参加

①日本貝類学会令和7年度大会 (東京)

期日: 令和7年5月16日 (金) ~ 5月18日 (日)

場所: 東京家政学院大学千代田三番町キャンパス

5) 調査研究に係る出張

①貝類系統解析用調査

期日：令和7年8月26日（火）～8月28日（木）

場所：静岡県静岡市

②貝類系統解析用調査

期日：令和7年9月10日（水）～9月11日（木）

場所：岐阜県駒ヶ根市、木曽郡上松町、木曽町、大桑村、上伊那郡宮田村

③貝類系統解析用調査

期日：令和7年9月30日（火）～10月2日（木）

場所：岐阜県伊那市・山梨県北杜市

一田昌宏（主任学芸員：古生物）

調査研究の主なテーマ

- ・飛騨外縁帯及び黒瀬川帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料の効果的な利用に資するシステムの構築
- ・異常巻紡錘虫の生態学的研究

令和7年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した珪化紡錘虫類 *Hidaella* の3D解析
- ・滋賀県多賀町権現谷の珪化化石の3D解析
- ・ジュラ紀付加体中の重力流起源の炭酸塩堆積物（岐阜県、静岡県）
- ・化石標本のリスト化及び収蔵庫2内での電子地図作製
- ・収蔵用コンテナ及び資料箱のサイズの多様化と収蔵空間の節約
- ・*Nipponitella* の生息姿勢及び堆積環境推定

1) 論文

（査読有）

なし

（査読なし）

- ①稗田真也・菊地波輝・一田昌宏, 2025. 特別企画展「エイリアンプラント・バスターズー侵略

的外来植物対策展—」における新しい試み. 用水と廃水, 67 (10) : 75-81.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

（※公務による出張、参加のみ掲載）

なし

5) 調査研究に係る出張

なし

丹羽美春（主任学芸員：岩石・鉱物）

調査研究の主なテーマ

- ・中央構造線沿いに分布する断層岩の変形履歴等の解明

- ・東三河の地質と産出する岩石・鉱物について

令和7年度調査研究テーマ

- ・東三河の中央構造線の構造岩石学的研究

1) 論文

（査読有）

- ①丹羽美春, 2025. 小学生の地学学習に関するデジタル教材の制作と有効性の検証. 理科教育学研究, 66 (1), 137-145.

（査読なし）

なし

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

- ①丹羽美春, 道林克禎, 谷 健一郎, 西村拓真, 愛知県新城地域の中央構造線沿いに分布するマイロナイトの形成過程. 日本地球惑星科学連合 2025 年大会 口頭発表（令和7年5月27日（火）, 幕張メッセ）

- ②丹羽美春, 道林克禎, 谷 健一郎, 愛知県新城地域から産する領家帯マイロナイトの年代と構造地質史. 一般社団法人日本鉱物科学会 2025 年年会・総会 ポスター発表（令和7年9月10日（水）, 山口大学）

4) 学会、研究会等への参加

①日本地球惑星科学連合 2025 年大会
期日：令和 7 年 5 月 25 日（日）～5 月 30 日
（金）

場所：幕張メッセ、Zoom

②日本鉱物科学会 2025 年年会・総会
期日：令和 7 年 9 月 10 日（水）～9 月 12 日
（金）

場所：山口大学

5) 調査研究に係る出張

①顕微レーザーラマン分光分析

期日：令和 7 年 11 月 27 日（木）

場所：名古屋大学

坂本博一（主任学芸員：魚類）

調査研究の主なテーマ

- ・三河地方の魚類相

令和 7 年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内のため池におけるブルーギルの定着と在来種への影響について
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・愛知県で水揚げされる板鰐類
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

なし

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

①板鰐類シンポジウム 2025

期日：令和 7 年 12 月 11 日（木）

場所：東京大学大気海洋研究所

5) 調査研究に係る出張

なし

稗田真也（学芸員：植物）

調査研究の主なテーマ

- ・東三河地方の在来植物相と地域植物誌
- ・日本の外来植物相

・侵略的外来種の生活史・管理についての研究
令和 7 年度の調査研究テーマ

- ・地域の植物相・植物誌調査

- ・侵略的外来水生植物の早期防除調査

1) 論文

（査読有）

なし

（査読なし）

①稗田真也・菊地波輝・一田昌宏, 2025. 特別企画展「エイリアンプラント・バスターズー侵略的外来植物対策展—」における新しい試み. 用水と廃水, 67 (10) : 75-81.

②浜崎健児・山本大輔・大坪瑞樹・弘中陽介・菊地波輝・稗田真也, 2026. 愛知県豊田市内の西中山川と御船川における特定外来生物オオバナミズキンバイの県内初記録と早期防除について. 矢作川研究, (30) : 79-86.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

①稗田真也・瀧崎吉伸・兵藤健太郎・常富 豊・曾宮和夫・清水雅子・小川敏幸・花井隆晃, 三河湾東部に侵入した特定外来生物ヒガタアシに対する早期発見・迅速対応—標本同定からほぼ根絶まで—. 口頭発表. 日本植物分類学会第 25 回大会. 2026 年 3 月 8 日, 熊本大学黒髪南キャンパス.

②野間直彦・岩留彩良・森小夜子・富岡秀樹・島津了楽・井形篤志・住田貴廣・橋本果奈・安原輝・石田未基・稗田真也・渡部俊太郎・前迫ゆり. 伊吹山頂草原植物群落（天然記念物）のニホンジカ影響下 10 年の変化. 口頭発表. 第 73 回日本生態学会大会. 2026 年 3 月 11 日, 京都大学吉田キャンパス.

③浜崎健児・山本大輔・大坪瑞樹・弘中陽介・菊地波輝・稗田真也. 愛知県豊田市の河川における特定外来生物オオバナミズキンバイの県内初記録と早期防除. ポスター発表（オンラインおよびオンサイト）. 第 73 回日本生態学会大会. 2026 年 3 月 15 日, 京都国際会館.

4) 学会、研究会等への参加

①日本植物分類学会第25回大会

期日：令和8年3月6日(金)～3月8日(日)

場所：熊本大学黒髪南キャンパス

5) 調査研究に係る出張

なし

菊地波輝(学芸員：昆虫)

調査研究の主なテーマ

- ・ヒメバチ科の分類・系統学的研究
- ・寄生蜂と寄主の多様性解明
- ・東海地方の昆虫相の解明
- ・表浜の海浜性ハチ類の分布
- ・東海地方のクチナガハバチ属の分布と採集方法の確立

令和7年度の調査研究テーマ

- ・寄生蜂の多様性研究
- ・東海地方の昆虫相の解明

1) 論文

(査読有)

① Hsuan-Pu Chen, Namiki Kikuchi, Shiuh-Feng Shiao, 2025. *Montichneumon*, a new genus of Ichneumoninae (Hymenoptera, Ichneumonidae) from the high mountains of Taiwan. *European Journal of Taxonomy*, 1007: 1-23

② Namiki Kikuchi, Yu Hisasue, 2026. Rediscovery of *Neotypus coreensis* (Hymenoptera: Ichneumonidae) from Japan, a parasitoid of the endangered butterfly *Niphanda fusca* (Lepidoptera: Lycaenidae). *Entomological Science*, 29(1): e70007.

③ 菊地波輝・屋宜禎央・顔 聖紘, 2026. 日本未記録種タイワンキオビニセハマキ(和名新称) *Birhana taiwana* Heppner, 1990(鱗翅目, ニセハマキガ科)の奄美大島での採集記録. 昆虫(ニューシリーズ), 29(1): 21-23.

(査読なし)

① 稗田真也・菊地波輝・一田昌宏, 2026. 特別企画展「エイリアンプラント・バスターズ—侵略

的外来植物対策展—」における新しい試み. 用水と廃水, 67(10): 75-81.

② 浜崎健児・山本大輔・大坪瑞樹・弘中陽介・菊地波輝・稗田真也, 2026. 愛知県豊田市内の西中山川と御船川における特定外来生物オオバナミズキンバイの県内初記録と早期防除について. 矢作川研究, (30): 79-86.

③ 菊地波輝・岩下幸平・長谷川道明, 2026. 愛知県初記録の外来種フウノキギンバネスガ *Thecobathra lambda* (Moriuti, 1963)(鱗翅目スガ科). 豊橋市自然史博物館研究報告, (36): 79-81.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

① 菊地波輝. チョウの寄生者、日本産 *Hoplismenus* 属群(膜翅目ヒメバチ科)の再検討. 第85日本昆虫学会大会. 2025年9月, 東京農業大学.

② 山口万里花・高橋秀男・菊地波輝・吉田貴大・村上哲明・奥山雄大. 密接な送粉共生系の地理的モザイクを利用したイワボタン列の花形質多様化要因の解明. 第73回日本生態学会, 2026年3月, 京都大学.

③ 浜崎健児・山本大輔・大坪瑞樹・弘中陽介・菊地波輝・稗田真也. 愛知県豊田市の河川における特定外来生物オオバナミズキンバイの県内初記録と早期防除. 第73回日本生態学会大会. 2026年3月, 京都国際会館.

4) 学会、研究会等への参加

①第85日本昆虫学会大会

期日：令和7年9月13日(土)～9月15日(月)

場所：東京農業大学(神奈川県)

5) 調査研究に係る出張

①昆虫多様性調査

期日：令和7年4月20日(日)～4月25日(金)

場所：奄美大島(鹿児島県)

②昆虫多様性調査

期日：令和7年5月27日（火）～5月29日（木）

場所：御蔵島（東京都）

③環境総合推進費による野外調査

期日：令和7年10月10日（金）～10月22日（水）

場所：小笠原諸島（東京都）

長谷川道明（学芸員：昆虫）

調査研究の主なテーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相
- ・昆虫類の普及・教育活動・日本産カミキリムシの種分化と系統

令和7年度の調査研究テーマ

- ・郷土の希少野生両生類の保全に関する研究
- ・*Olenecamptus bilobus* 種群（甲虫目カミキリムシ科）の分類学的再検討
- ・愛知県のオオキノコムシ科甲虫について

1) 論文

（査読有）

- ①島田知彦・吉川雅・長谷川道明・宮川喜仲・吉川雅己・高見一利, 2026. 愛知県半島部に生息するサンショウウオ類のミトコンドリア DNA に見られる遺伝的多様性について. 豊橋市自然史博物館研究報告, (36) : 1-10.

（査読なし）

- ①鈴木亙・長谷川道明, 2025. 乗鞍岳高山帯で2017～2025年夏期に採集されたコメツキムシ. 啓蟄, (81) : 44-46.
- ②鈴木亙・長谷川道明, 2025. 岐阜県におけるニホンムネスジダンドラコメツキの記録. 啓蟄, (81) : 47.
- ③菊地波輝・岩下幸平・長谷川道明, 2026. 愛知県初記録の外来種フウノキギンバナスガ *Thecobathra lambda* (Moriuti, 1963) (鱗翅目

スガ科). 豊橋市自然史博物館研究報告, (36) : 79-81.

- ④蟹江昇・戸田尚希・大野友豪・長谷川道明, 2026. 愛知県の甲虫目録 12 - オオキノコムシ科 -. 佳香蝶, (305) : 84-131.

- ⑤吉田雅澄・長谷川道明, 2026. 三河地方のコフキトンボ (オビトンボ型). 佳香蝶, (305) : 138.

2) 普及書等

- ①長谷川道明, 2025. 昆虫コレクションの継承のために. GKK 通信 (岐阜県昆虫分布研究会), (11) : 1-2.

3) 学会発表等

- ①長谷川道明. *Olenecamptus bilobus* 種群（甲虫目カミキリムシ科）の雄交尾器エンドファルスの形態について. 日本甲虫学会名古屋例会（2026年3月15日、三重県環境学習情報センター）.

(2) 外部研究資金助成等の獲得

- ①第34期（2023年度）プロ・ナトゥーラ・ファン্ড助成【2023年10月～2025年9月】

研究分担者：菊地波輝

研究課題名：イワボタン列の遺伝的多様性保全に向けた、イワボタン列クチナガハバチ属共生系の実態調査

助成額：1,000,000 円【期間総額】

- ②環境研究総合推進費・革新型研究開発（若手枠 A）【2025年4月～2028年3月】

研究分担者：菊地波輝

研究課題名：小笠原における枯死植物利用昆虫の種多様性・種間相互作用の解明

委託額：5,915,000 円【2025年度経費上限額】

5. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	数量
《植物》				
2026.03.12	愛知県各地	植物標本	稗田真也	63
《貝類》				
2025.04.10	愛知県田原市加治町	淡水産貝類	長谷川道明	3
2025.09.11	長野県上伊那郡宮田村	陸産貝類	西 浩孝	2
2025.10.15	愛知県名古屋市瑞穂区	淡水産貝類	西 浩孝	3
2025.10.15	愛知県名古屋市瑞穂区	ナメクジ	西 浩孝	2
《昆虫類》				
2025.11.20	愛知県豊橋市老津町	フウノキギンバナエスガ	長谷川道明・ 菊地波輝	5
2026.03.10	奄美大島	タイワンキオビニセハマキ	菊地波輝	1
《哺乳類》				
2026.03.02	愛知県田原市高松町	スジイルカ	安井謙介	1
2025.04.28	愛知県豊橋市寺沢町	スナメリ	安井謙介	1
2025.05.11	愛知県豊橋市小島町	スジイルカ	安井謙介	1
2025.08.01	愛知県豊橋市高塚町	コビレゴンドウ	安井謙介	1
《無脊椎動物》				
2025.04.18	豊橋市前芝海岸	多毛類	菊地波輝・ 西 浩孝	8

(2) 寄贈資料

資料名	受入先	受入日	数量
《岩石・鉱物》			
高師小僧	兼松洋子	2025.06.28	1
白水雲母	石田清隆	2025.12.04	1
《植物》			
植物標本	瀧崎吉伸	2026.03.12	319
《貝類》			
陸産貝類	有川 勝	2025.04.15	1
海・陸産貝類	西 浩孝	2025.04.15	8
海産貝類	西 浩孝	2025.04.27	10
ウミウシ等	西 邦雄	2025.04.03	11
淡水産貝類	西 浩孝	2025.05.08	16
陸産貝類	岩崎員郎	2025.05.15	8

海産貝類	柏尾 翔	2025.05.13	1
陸産貝類	長谷川道明	2025.05.22	1
海産貝類	西 浩孝	2025.05.27	41
陸産貝類	鈴木順久	2025.06.20	1
海産貝類	西 浩孝	2025.06.26	7
淡水・汽水・海産貝類	西 浩孝	2025.07.12	55
淡水産貝類	西 浩孝	2025.09.09	20
陸産貝類	守谷茂樹	2025.10.07	2
ウミウシ	西 浩孝	2025.11.07	3
淡水産貝類	西 浩孝	2025.11.14	5
淡水産貝類	西 浩孝	2026.01.09	5
陸産貝類	岩田明久	2026.03.31	9
《甲殻類》			
ヨコエビ	西 浩孝	2025.04.22	2
ハマダンゴムシ	西 浩孝	2025.05.27	1
カクレエビ	中島廉太郎	2025.09.09	4
エビ	菊地波輝	2025.12.12	1
《無脊椎動物》			
環形動物	西 浩孝	2025.05.20	2
ヤマビル	西 浩孝	2025.08.05	1
多毛類	西 浩孝	2025.11.07	1
《昆虫》			
タイワンコヤマトンボ、ヒナヤマトンボ、エゾコヤマトンボ	植村好延	2025.06.24	6
トンボ類標本	小早川勝教	2025.07.17	1,600
オオクワガタ（ギナンドロモルフ）	松野匡記	2026.03.10	1
《魚類》			
ナンヨウアゴナシ	高梨佑真	2025.09.24	1
トウカイナガレホトケドジョウ（paratype）	井藤大樹	2025.10.07	1
《爬虫類》			
シロマダラ	みどりの協会	2025.10.08	1
マムシ	後藤弘之	2025.10.15	1
マムシ	豊橋総合動植物公園	2026.03.27	1
《鳥類》			
チドリ類	鈴木尚子	2025.06.21	1
アオゲラ	豊橋市少年自然の家 （後藤弘之）	2025.07.01	1
クイナ	安井佳代	2025.10.02	1
ミサゴ	渡辺幸久・本田泰敏	2025.10.21	1

コミミズク	伊藤裕康	2025.11.15	1
シロハラ	白井朝子	2025.11.15	1
ソウシチョウ	中根三恵子	2025.11.19	1
キンバト	市民	2026.01.10	1
ルリカケス	伊藤圭子	2026.03.12	1
サシバ	伊藤圭子	2026.03.12	1
メジロ	田中海生	2026.03.12	1
アオジ	塩澤憲治	2026.03.18	1
イソヒヨドリ	山口恵子	2026.03.27	1
《哺乳類》			
コウベモグラ	安井佳代	2025.04.01	1
キツネ	一般市民	2025.04.04	1
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.06.22	1
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.06.10	2
コウベモグラ	賛 元洋	2025.08.06	1
ジネズミ	山口恵子	2025.09.20	1
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.09.21	1
ツキノワグマ（頭骨）、アナグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.09.30	4
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.10.23	1
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.10.28	1
ハクビシン	加藤利依	2025.10.28	1
ヒグマ（頭骨）	美澤佑紀	2025.11.11	1
コウベモグラ	緑の協会	2026.01.08	1
コウベモグラ	谷口 楽	2026.01.08	1
トド（頭部）	美澤佑紀	2026.02.26	2
ツキノワグマ（頭骨）	美澤佑紀	2026.03.21	18
アマミノクロウサギ・ケナガネズミ	環境省奄美野生生物 保護センター	2026.03.27	16

(3) 収蔵資料状況（令和8年3月31日現在）

区分	記号	令和7年度 受入点数	令和7年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登録 資料合計
古生物部門	TMNH	0	0	15,123	53,355	68,478
岩石・鉱物部門	TMNH-R	2	0	5,128	4,455	9,583
植物部門	TMNH-B	382	383	17,565	17,935	35,500
動物部門		1,922	27,182	117,393	366,444	483,837
その他（民芸品等）		0	0	0	7	7
	計	2,306	27,565	155,209	442,196	597,405
（動物部門内訳）						
貝 類	TMNH-MO	213	24,627	78,999	110,777	189,776
甲殻類	TMNH-C	8	0	108	1,970	2,078
昆虫類	TMNH-I	1,613	2453	33,842	250,557	284,399
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	12	0	90	801	891
魚 類	TMNH-F	2	29	2,634	1,598	4,232
両生類	TMNH-AM	0	0	78	50	128
爬虫類	TMNH-RE	3	0	162	61	223
鳥 類	TMNH-AV	13	17	726	330	1,056
哺乳類	TMNH-MA	58	56	754	300	1,054

(4) 剥製等の製作委託

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物や動物園の死亡個体を収集している。令和7年度に剥製標本として資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
アジアゾウ	鼻剥製	1
アジアゾウ	耳剥製	2
イワシクジラ	クジラヒゲ剥製	2
計		5

(5) 植物生態模型の製作委託

ホテイアオイ、ボタンウキクサ、オオフサモ3種の生態模型を作製した。

(6) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、令和7年度は7件を受入れた。

①件 名：博士研究に関するデータ取得のための資料利用

利用者：筑波大学大学院 近藤征海

内 容：ヒグマおよびボリビアリスザル骨格標本2点

②件 名：植物分類学会での発表および学会誌への投稿

利用者：瀧崎吉伸

内 容：ハットクマメ2点

③件 名：Horiaclavus 属の分類学的研究

利用者：University of Kerala R.
Ravinesh

内 容：Horaiclavus stenocyma Kuroda
& Oyama, 1971

④件 名：恒川標本の調査

利用者：安井佳代

内 容：恒川標本（植物標本）一式

⑤件 名：恒川標本の調査

利用者：小林元男

内 容：恒川標本（植物標本）一式

⑥件 名：恒川標本の調査

利用者：安井佳代

内 容：恒川標本（植物標本）一式

⑦件 名：恒川標本の調査

利用者：小林元男

内 容：恒川標本（植物標本）一式

(7) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸 出 先：東京大学大気海洋研究所

浅田 要

目 的：研究のため

貸出期間：令和 7 年 4 月 20 日～令和 8
年 4 月 20 日

貸出資料：イセシラガイ

②貸 出 先：長崎市恐竜博物館

目 的：特別企画展「ポケモン化石
博物館」にて展示のため

貸出期間：令和 7 年 6 月 1 日～令和 7
年 9 月 28 日

貸出資料：アノマロカリス実物等 14 点

③貸 出 先：株式会社プレック研究所

杉尾大地

目 的：研究のため

貸出期間：令和 7 年 7 月 14 日～令和 7
年 10 月 30 日

貸出資料：コウフオカモノアラガイ、
オカモノアラガイ類

④貸 出 先：ふじのくに地球環境史ミ
ュージアム

目 的：令和 7 年度企画展「標本サ
ファリー大地の動物・水の

動物—」での展示と半水生
動物に関する教育普及活動
に利用するため

貸出期間：令和 7 年 7 月 31 日～令和 7
年 11 月 10 日

貸出資料：ホッキョクグマ頭骨等 2 点

⑤貸 出 先：株式会社 NHK プロモーシ
ョン

目 的：国立科学博物館特別展「大
絶滅展—生命史のビッグフ
ァイブ」展示利用のため

貸出期間：令和 7 年 8 月 6 日～令和 8
年 3 月 13 日

貸出資料：メゾンクリーク化石等 31 点

⑥貸 出 先：福井県立大学 大山 望

目 的：研究のため

貸出期間：令和 7 年 8 月 8 日～令和 7
年 11 月 1 日

貸出資料：Mazon Creek 産標本 30 点

⑦貸 出 先：豊橋市図書館

目 的：まちなか図書館における特
集展示のため

貸出期間：令和 7 年 9 月 2 日～令和 7
年 10 月 21 日

貸出資料：ウナギの液浸及び剥製標本

⑧貸 出 先：徳島県立博物館

目 的：特別企画展「ポケモン化石
博物館」にて展示のため

貸出期間：令和 7 年 9 月 26 日～令和 8
年 1 月 9 日

貸出資料：アノマロカリス実物等 14 点

⑨貸 出 先：福井県立大学 河部壮一郎

目 的：研究のため

貸出期間：令和 7 年 10 月 8 日～令和 8
年 2 月 28 日

貸出資料：アミメキリン頭骨等 16 点

⑩貸 出 先：東京大学大学院理学系研究
科 上島 励

目 的：研究のため

貸出期間：令和 7 年 10 月 15 日～令和

8年1月30日

貸出資料：オオタキコギセル 24 点

⑪貸 出 先：三重県総合博物館

目 的：特別展・第 42 回企画展「ポケモン化石博物館」にて展示のため

貸出期間：令和 8 年 1 月 9 日～令和 8 年 4 月 16 日

貸出資料：アノマロカリス実物等 14 点

⑫貸 出 先：浜松市博物館

目 的：干支展「ウマ」で展示するため

貸出期間：令和 8 年 1 月 21 日～令和 8 年 3 月 13 日

貸出資料：ウマ関連資料等 47 点

⑬貸 出 先：愛知教育大学 島田知彦

目 的：研究のため

貸出期間：令和 8 年 3 月 3 日～令和 9 年 2 月 15 日

貸出資料：サンショウウオ類 4 点

⑭貸 出 先：名古屋市科学館

目 的：特別展「大絶滅展—生命史のビッグファイブ」での展示利用のため

貸出期間：令和 8 年 3 月 4 日～令和 8 年 7 月 10 日

貸出資料：メゾンクリーク化石等 31 点

⑮貸 出 先：福井県立大学 大山 望

目 的：研究のため

貸出期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

貸出資料：Mazon Creek 産標本 30 点

年 3 月 31 日

借用資料：岩石標本 9 点

②借 用 先：国立科学博物館

目 的：企画展「標本となった飼育個体—のんほいパークだからできること—」での展示及びレプリカ作製のため

借用期間：令和 7 年 5 月 7 日～令和 7 年 9 月 19 日

借用資料：豊橋市嵩山産トラ下顎骨化石 2 点

2) 借用

①借 用 先：神奈川県立生命の星・地球博物館

目 的：展示標本および学習標本として利用するため

借用期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8

6. 施設整備

(1) 修繕

修繕名	請負業者	契約金額 (円)
自然史博物館干潟展示什器修繕	日昇テレコム株式会社	157,300
大型映像プロジェクター修繕	株式会社デジタル・アンド・ デザイン・ピクチャーズ	1,260,000
特別企画展示室昇降装置照明ボタン修繕	東芝ライテック株式会社 中部営業所	8,228,000
自然史博物館研究棟空調修繕	豊橋設備サービス株式会社	3,267,000
自然史博物館干潟の自然プロジェクター取替修繕	日昇テレコム株式会社	363,000
監視カメラ取替修繕	株式会社ネクステージ	638,000
空調機ダクト防火ダンパー修繕	株式会社中部技術サービス	451,000
事務室・講堂等屋上漏水修繕	有限会社創喜商会	154,000
大型映像プロジェクターHDD 取替修繕 (HDD1)	株式会社デジタル・アンド・ デザイン・ピクチャーズ	187,000

(2) 備品

品名	納入業者	契約金額 (円)
ティラノサウルス下顎骨ハンズオン模型	小野 輝雄	480,000
卓上クリーンブース、サーマルサイ클ラー他	有限会社山本器械店	654,500
乾燥機	ホシザキ東海株式会社 豊 橋営業所	484,000
ガチャガチャ本体	株式会社イクモ	113,000
顕微鏡用 4K デジタルカメラ	株式会社イクモ	544,500
R8 年度特別企画展用隕石資料	小野 輝雄	990,000

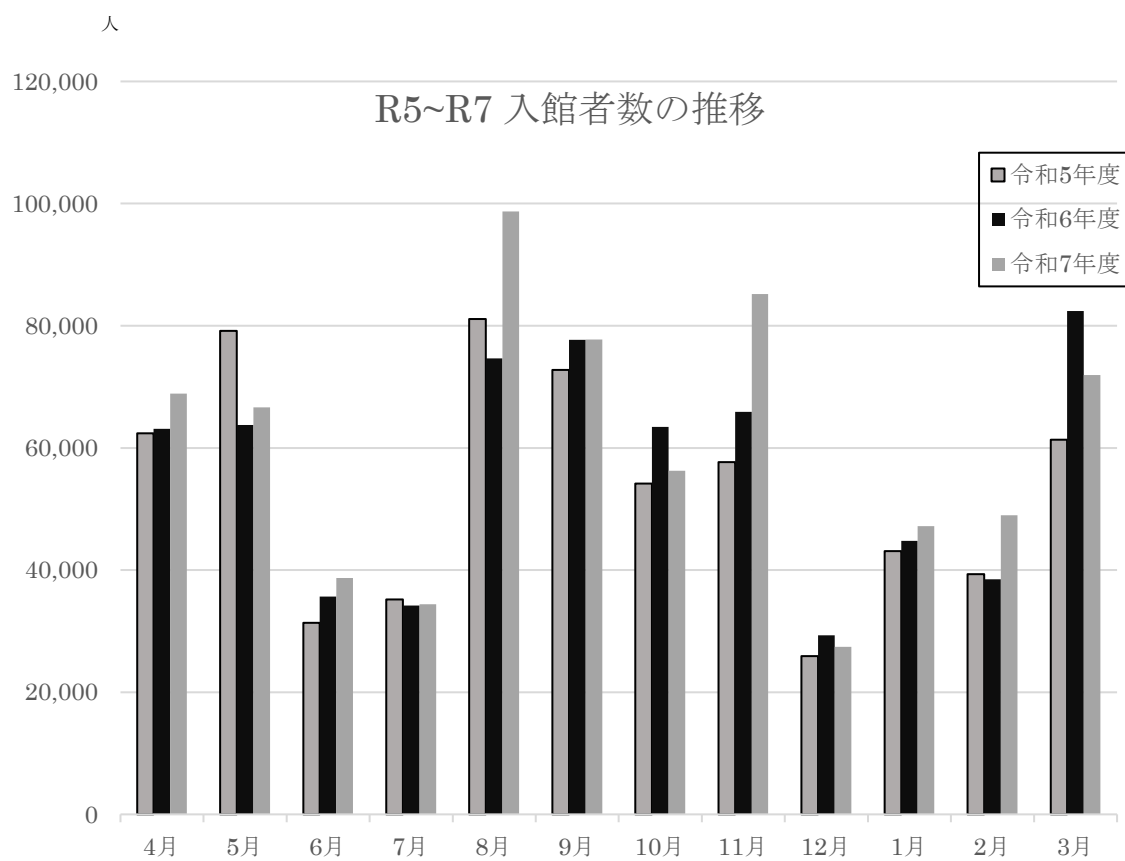
Ⅱ. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園
月4	人 62,364	% △1.9	人 88,164	人 63,122	% 1.2	人 92,197	人 68,905	% 9.2	人 102,364
5	79,158	△22.7	118,810	68,750	△13.1	112,627	66,618	△3.1	115,648
6	31,358	△20.4	47,189	35,663	13.7	44,577	38,674	8.4	49,120
7	35,181	△41.9	44,714	34,183	△2.8	40,592	34,380	0.6	46,802
8	81,118	△32.2	100,643	74,634	△8.0	89,751	98,691	32.2	111,423
9	72,750	△1.3	103,283	77,687	6.8	97,104	77,732	0.1	102,478
10	54,159	△40.1	97,952	63,423	17.1	84,104	56,267	△11.3	95,194
11	57,692	12.4	100,416	65,886	14.2	87,468	85,201	29.3	146,251
12	25,925	△4.3	45,649	29,311	13.1	42,139	27,429	△6.4	46,964
1	43,082	△15.2	61,363	44,765	3.9	60,688	47,165	5.4	68,901
2	39,327	△4.5	60,437	38,478	△2.2	46,716	48,994	27.3	74,297
3	61,354	△1.0	98,169	82,386	34.3	86,607	71,915	△12.7	124,610
年計	643,468	△17.7	966,789	678,288	5.4	884,570	721,971	6.4	1,040,549
累計	18,282,336	—	—	18,960,624	—	—	19,682,595	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	曜日等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	64 日	61 日	188 日	313 日
入館者総数	317,684 人	297,821 人	106,466 人	721,971 人
1 日平均	4,964 人	4,882 人	566 人	2,307 人
1 か月平均	26,474 人	24,818 人	8,872 人	60,164 人
1 日最高入館者	5 月 4 日 11,187 人	9 月 27 日 9,522 人	8 月 14 日 9,693 人	—

(3) ホームページ閲覧者数

月	ページビュー数	ユニークページ ビュー数
令和7年4月	420,807	390,289
5月	231,333	212,880
6月	6,234	5,957
7月	120,174	91,567
8月	140,591	104,415
9月	111,759	85,229
10月	114,181	86,649
11月	132,812	106,052
12月	112,592	85,337
令和8年1月	115,509	88,815
2月	112,662	85,927
3月	332,650	290,281
合計	1,951,304	1,633,398

※豊橋市自然史博物館ホームページ： <https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

※ホームページ開設：2000年10月7日

※アクセス解析による

(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	556	△11.7	25	518	△6.8	26	400	△22.8
5	26	390	△44.7	27	358	△8.2	27	450	25.7
6	26	228	△49.3	26	610	167.5	25	346	△43.3
7	26	350	11.1	26	244	△30.3	27	192	△21.3
8	27	262	△37.1	25	176	△32.8	27	180	2.3
9	26	318	25.7	24	370	16.4	25	284	△23.2
10	26	416	△25.0	27	296	△28.8	27	224	△24.3
11	26	514	△16.0	26	394	△23.3	26	376	△4.6
12	27	400	30.7	26	330	△17.5	26	222	△32.7
1	24	332	△32.8	27	444	33.7	27	454	2.3
2	25	322	△15.5	24	254	△21.1	24	440	73.2
3	27	302	△31.4	26	366	21.2	26	398	8.7
計	312	4,390	△21.0	309	4,360	△0.7	313	3,966	△9.0

※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

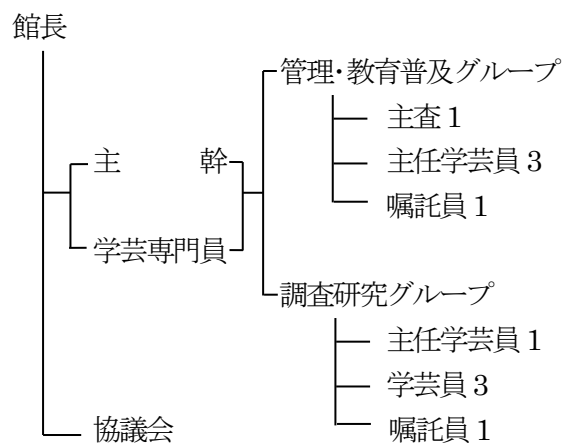
※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

Ⅲ. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織

(令和8年3月31日)



(2) 自然史博物館職員

(令和8年3月31日)

役職名	氏名
館長	吉川博章
主幹	三浦正雄
学芸専門員	安井謙介
主査	中川理恵
主任学芸員	坂本博一
主任学芸員	西 浩孝
主任学芸員	一田昌宏
主任学芸員	丹羽美春
学芸員	稗田真也
学芸員	菊地波輝
学芸員	長谷川道明 (再任用)
嘱託員	佐原立樹
嘱託員	田中昌二

2. 博物館の使用料等

①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。(平成4年4月29日以降)

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600 円	480 円
小・中学生	100 円	80 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

②使用料(観覧等)：自然史博物館条例第4条
特別企画展観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	特別企画展観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小・中学生	400 円	300 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

大型映像観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	大型映像観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小人(中学生以下)	400 円	300 円

※個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

③手数料：自然史博物館条例第5条
博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料
複写	1枚につき	20 円
模写	1点につき	1,030 円
模造	1点につき	1,030 円
拓本	1点につき	1,030 円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1点につき 1,030 円
	その他の場合	300 円

④講堂、特別企画展示室使用料：
自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料
講堂	午前9時から 正午まで	3,510 円
	午後1時から 午後4時30分まで	4,150 円
	午前9時から 午後4時30分まで	7,660 円
特別企画 展示室	午前9時から 正午まで	9,600 円
	午後1時から 午後4時30分まで	10,670 円
	午前9時から 午後4時30分まで	20,270 円

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 令和7年度歳入歳出決算見込

(歳入)

項名	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 10,650,920
手数料	資料複写等手数料	1,030
財産収入	その他賃貸料	2,480,849
諸収入	図録頒布収入	1,207,000
	講座等収入	381,400
	調査研究活動事業収入	460,000
	光熱水費収入	188,884
	小計	2,237,284
合計		15,370,083

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 11,693,918	(光熱水費)	円 19,885,313
給料	48,205,584	(修繕料)	15,063,650
職員手当等	39,957,819	(医薬材料費)	0
共済費	19,033,047	役務費	1,309,673
報償費	219,500	委託料	42,415,349
旅費	1,348,155	使用料及び賃借料	7,454,201
需用費	43,271,706	工事請負費	0
(消耗品費)	5,689,884	原材料費	0
(燃料費)	126,459	備品購入費	3,673,000
(食糧費)	12,000	負担金、補助及び交付金	260,600
(印刷製本費)	2,494,400	公課費	0
合計		合計	218,842,552

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：令和7年7月25日（金）

場 所：自然史博物館 講堂

出席者：委員（7人）

滝川昌男、夏目祐介、安村信弘、杉山康子、三輪多恵子、中神則子、河村善也

事務局（7人）

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
会 長 安村信弘
副会長 滝川昌男
- ・令和6年度 自然史博物館事業報告について
- ・令和7年度 自然史博物館主要事業について
- ・豊橋市の科学教育施設の将来像について

第2回

期 日：令和8年2月17日（火）

場 所：自然史博物館 講堂

出席者：委員（6人）

滝川昌男、安村信弘、杉山康子、三輪多恵子、中神則子、河村善也

事務局（7人）

議 題：

- ・令和7年度の主な活動について
- ・令和8年度自然史博物館の主要事業計画（案）について
- ・豊橋市の科学教育施設の将来像について

豊橋市自然史博物館協議会委員

（令和7年度）

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	滝川昌男	学校教育
小中学校長会代表	夏目祐介	学校教育
自治連合会代表	安村信弘	社会教育
自然史博物館 ボランティア代表	杉山康子	社会教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	本馬絵美子	家庭教育
愛知教育大学 准教授	島田知彦	学識経験
豊橋創造大学 教授	三輪多恵子	学識経験
元豊城中学校教頭	中神則子	学識経験
愛知教育大学 名誉教授	河村善也	学識経験

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。令和7年度は、審査案件がなかったため未開催。

豊橋市自然史博物館資料収集委員（令和7年度）

区分	氏名	所属・役職
古生物	河村 善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井 伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田 信豊	元・南山大学教授
脊椎動物	織田 銃一	元・名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：令和7年6月17日（火）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

報告事項：

①・第20回自然史博物館自由研究展結果

議 題：

①令和7年度の事業について

- ・第21回自然史博物館自由研究展
- ・出前授業／標本貸出セット

②その他

第2回

期 日：令和7年10月1日（水）～7日（火）
の間で各委員が都合に合わせて来館、審査

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

議 題：

①第21回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：令和8年2月25日（水）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

議 題：

①令和7年度の事業報告

- ・第21回自然史博物館自由研究展
- ・出前授業／標本貸出セット
- ・その他

②令和8年度博物館の事業について

- ・第22回自然史博物館自由研究展
- ・その他

③その他

豊橋市自然史博物館研究委員（令和7年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	中村 宏	豊南小学校校長
委員	近藤 法明	老津小学校教諭
委員	原田 誠	高師小学校教諭
委員	山本 律子	大清水小学校教諭
委員	谷山 裕子	東部中学校教諭
委員	佐藤 孝子	東田小学校教諭
委員	鈴木 晃一	中部中学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：令和7年6月20日（金）

場 所：自然史博物館講堂

主席者：委員長、委員4人、事務局4人

議 題：

- ・令和7年10月からの自然史博物館大型映像デジタル番組組込・宣伝業務の契約候補者の選定について

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成8年度より博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料ボランティア」がある。令和7年度は、92人が登録し、活動を行った。

(1) 新規ボランティア説明会及び研修

本年度は12人の応募者があり、所定の研修後、11人を採用した。

(2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に7人が選出され、10回の運営委員会が開催された。

(3) ボランティア・ガイドツアー

ボランティアによる常設展示室のガイドツアーを平成22年度より開催。令和7年度の開催回数は168回、参加人数は2,778人であった。

(4) スポット音読

ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせを博物館内にて実施した。23回開催し、参加者数は644人であった。

(5) リサーチテーブルでの解説

恐竜劇場のリサーチテーブルにて、実物化石や骨等を用いた展示解説を実施した。23回開催し、参加者数は2,139人であった。

(6) ボランティア通信「ぶしったこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぶしったこ」を46号から48号まで発行した。

(7) 特別企画展関連行事での活動

第39回特別企画展「エイリアンプラント・バスターズ」の会場にて展示解説等を行った。

(8) 恐竜大掃除

令和7年12月18日(木)に開催された恐竜大掃除に25人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともにを行った。

(9) ボランティア主催行事

下記の研修会を自主的に企画し、開催した。

①ボランティア総会

期 日：令和7年5月11日(日)

場 所：自然史博物館

参加者：37人

②他館見学研修会

期 日：令和7年6月28日(土)

場 所：日本モンキーセンター

参加者：18名

③ボランティア懇親会

期 日：令和7年10月5日(日)

場 所：豊橋市内

参加者：30人

④ボランティア交流会

丹羽主任学芸員による講演会等

期 日：3月5日(水)

場 所：自然史博物館

参加者：27名

令和7年度のボランティア活動実績（令和7年4月～令和8年3月）

分 野		登録人数	活動のべ人数	活動のべ時間	活動内容
運営委員会		7	76	109	自主研修等の企画・運営
編集委員会		6	53	155	ボランティア通信の編集・発行
教育普及		35	394	1,184	展示解説等
研修・行事等		—	162	303	恐竜大掃除等
資料整理	植物	7	250	715	標本台紙貼等
	貝類	8	160	467	リスト作成等
	昆虫	8	52	142	標本作製等
	魚類	9	27	64	標本作製等
	脊椎動物	24	179	566	標本作製等
	化石	14	359	872	化石クリーニング、登録等
	岩石・鉱物	4	30	81	登録、リスト作成等
	図書	3	24	47	図書受入、登録、配架等
	小計	77	1,081	2,954	
計		125	1,766	4,705	

※登録人数は92人、内21人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号・令和 5 年 10 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を作成し、公開すること。
- (3) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。

(4) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。

(5) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。

(6) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。

(7) 学芸員その他の自然史博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。

(8) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

一部改正〔令和 5 年条例 10 号〕

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（博物館資料の閲覧をする者を除く。）は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号・令和 5 年 10 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第4に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成4年条例15号・令和5年10号〕

（使用料等の減免）

第7条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

（使用の制限）

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めたとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（権利譲渡の禁止等）

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

（使用承認の取消等）

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 公益上又は管理上特に必要があると認めるとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（使用料等の還付）

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館の制限）

第12条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めたとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（原状回復）

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

（損害賠償）

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

（自然史博物館協議会）

第15条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。
- 3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。
- 4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号・令和5年10号〕

（委 任）

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

＊別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 45 ページ ②

〃 別表第2. 〃 〃

第5条 別表第3. 45 ページ ③

第6条 別表第4. 45 ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)
(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めたときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。
ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただし、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第4)を申請者に交付する。

2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれら

の者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めたとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定によりの規定により使用料の免除を受けようとする者は、それぞれに掲げる免除事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号・30年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めたとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、教育委員会が適当と認めたものに館外貸出しを行うことができる。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、館外貸出承認書(様式第8の2)を申請者に交付する。

4 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号・令和5年7号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者(以下「寄託者」という。)は、資料寄託申請書(様式第9)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書(様式第10)を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(自然史博物館協議会)

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。

3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(会 議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(説明又は資料の請求等)

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(委 任)

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱 (趣旨及び設置)

第1条 この要綱は、豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を設置し、豊橋市附属機関設置条例(令和6年豊橋市条例第3号)第4条の規定に基づき必要な

事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱した日から2年とし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

(会議)

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

2 審査案件が単件又は同一の専門分野のみの場合、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。

3 委員会は、非公開とする。

(審査事項等)

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

(1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項

(2) 対象となる資料の評価額に関する事項

(3) 対象となる資料の適法性に関する事項

(4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購入又は受入れに関し市長が必要と認める事項

2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。

(1) 評価額が1件100万円以上の博物館資料の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。

するとき。

3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書(別添様式)を作成し、審査結果を報告する。

4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わることはできない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(秘密の保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年1月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

(委員の任期)

2 最初に委嘱される委員の任期は、第2条の規定にかかわらず、令和6年10月30日までとする。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会(以下「研究委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

(1) 自然史博物館の施設利用に関すること。

- (2) 学校との連携事業に関すること。
- (3) その他特に必要と認められること。

(委 員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科を担当するもののうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、

再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委 任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

V. 自然史博物館の概要

経過

昭和 58 年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和 60～62 年度	建設工事（市制施行 80 周年記念事業）
昭和 63 年 5 月 1 日	開館
平成 4 年 4 月 29 日	総合動植物公園オープン
平成 4 年 12 月 19 日	大型映像スタート
平成 7 年 3 月 25 日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成 16 年 4 月 29 日	古生代展示室展示改装オープン
平成 20 年 4 月 26 日	中生代展示室展示改装オープン
平成 28 年 5 月 2 日	新生代展示室展示改装オープン
令和 6 年 12 月 6 日	文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関

展示室等面積

単位：m²

常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成 4 年)	増築面積 (平成 14 年)	増築面積 (平成 18 年)	合計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代展 示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・その 他	1,591	887	0	0	2,478	その他	300
計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,216

※1 1 階（ガラパゴス含む）：500 m²、2 階：189 m²

※2 古生代展示室：506 m²、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794 m²、新生代展示室：442 m²

令和 8 年 3 月 31 日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第 38 号 令和 7 年度

令和 8 年（2026 年）6 月 30 日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>